

2017年9月5日
イオン九州株式会社

「DBJ 環境格付」・「DBJ 健康経営格付」 ～最高ランクの格付を同時取得！環境格付は5年連続～

イオン九州株式会社（代表取締役社長：柴田 祐司、以下 当社）は、株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：柳 正憲、以下 DBJ）の「DBJ 環境格付」では5年連続の最高ランク認定、および「DBJ 健康経営（ヘルスマネジメント）格付」では九州の小売業では初めての認定を取得しました。

「DBJ 環境格付」および「DBJ 健康経営格付」は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付けシステム）により企業の環境経営度や従業員への健康配慮の取り組みを評価。優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、イオングループの一員として地域に根ざした事業展開を行っている九州地区の代表的な総合小売事業者として、環境配慮型商品の販売や廃棄物の削減などの環境への取り組みを行うとともに、それを支える人材への配慮として、働きやすい職場環境づくりに主眼を置いた健康経営に取り組んでいます。その結果、それぞれの格付において「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付を同時に取得いたしました。

今回の格付では、以下の点が高く評価されました。

【DBJ 環境格付】

1. 設備毎の電力使用状況を可視化し、分析の結果エネルギー消費が多いと判断された店舗に対しては、実地確認の上、改善指導や修繕計画への反映を行うことで店舗による環境負荷軽減を実現している点
2. 協業先の事業所で発生した副産物を活用した土作りやボイラーを使用しない乾燥工程を経て生産される九州力作野菜の販売を拡大することで商品を通じた環境貢献を行っている点
3. イオングループの重点課題とKPIを基盤に、リスクと機会の両面から当社事業への影響度や取り組みの進捗度を踏まえて、環境を中心とした広範な社会課題の重要性を評価し、目標の設定および見直しを実施している点

【DBJ 健康経営格付】

1. 長時間労働削減プロジェクトの中で、時間外労働削減に向けた中長期目標を設定すると共に、本社・店舗の全拠点において勤怠管理システムを活用した正確な勤務時間の把握や連続休暇の取得徹底による有給休暇取得率の高位安定化等、目標達成に向けた効果的な仕組みを導入している点
2. 従業員の身体面・心理面・生活習慣・意識調査等の複数の健康データを収集し、特にストレスデータについては、職種・雇用形態、事業所、労働時間別にさまざまな観点から分析を実施するなど、従業員の健康特性の把握に努めている点
3. 従業員個人の目標設定に際し、生産性や働き方に関する指標を必須項目として導入し業績評価に組み入れることに加え、経営層からパート従業員まで含めた職能資格別の教育研修・評価制度の充実化及び事業所内保育所の設置など、働きやすさと働きがいの両立を目指した取り組みを実施している点

当社はこれからも、持続可能な社会の実現に向けて環境に配慮した経営を推進するとともに、従業員の健康増進を重視し、健康管理を経営課題として捉え、その実践に取り組み、従業員と家族の健康をサポートします。そして従業員とともに地域社会の健康とハピネスの実現に取り組みます。



当社は、平成29年9月日本政策投資銀行（DBJ）より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」と評価されました。



当社は、平成29年9月日本政策投資銀行（DBJ）より健康格付融資を受け、格付結果は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」と評価されました。